科目ナンバリング	U-LAS06 20019 LJ42				
授業科目名<英訳>	公共政策論II Public Policy II		担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授	浅野　耕太
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	法・政治・経済(各論)	使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	金2	配当学年	2回生以上	対象学生	全学向

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

社会の様々な不確実性を前提に、政策効果を定量的に捉え、分析・評価するために必要となる基本的な確率や統計などの考え方や手法を学び、政策の妥当性を検証する力を身につける。

[到達目標]

確率や統計の基礎的概念とそれを用いた政策評価の手法を修得し、幅広い公共政策の評価に応用できるようになる。

[授業計画と内容]

本講義の最終目標は、現実に行われている公共政策の政策効果の把握の実践力を養うことである。そのためには確率や統計の基礎的知識が必要となる。具体的には、記述統計学の内容、不確実性を記述する確率の概念、確率を伴う科学的推論の方法である仮説検定の論理、確率変数などの確率論の道具を学んだうえで、無作為割当といった理想的条件下での政策効果把握のための二つの代表的な検定を学ぶとともに、社会科学の分野で広く活用されている回帰分析を学び、最終的に非理想的条件下で回帰分析を活用した政策効果の定量的把握にいたる。

基本的に以下の授業計画に従って講義を進める。ただし講義の進みぐあい、時事問題への言及などに対応して順序や同一テーマの回数を変えることがある。

第１回　　政策分析と統計学的思考
第２回　　統計学的にみる－記述統計と統計的推測について－
第３回　　条件付確率とベイス推論
第４回　　仮説検定の論理－科学的推論の新機軸－
第５回　　確率変数と大数の法則－ギャンブルの真実－
第６回　　正規分布と中心極限定理－もうひとつの真実－
第７回　　政策効果把握のためのカイ二乗検定
第８回　　政策効果比較のためのスチューデントの ｔ 検定
第９回　　回帰分析入門（１）－単純線形回帰－
第１０回　回帰分析入門（２）－重回帰－
第１１回　回帰分析入門（３）－回帰分析の統計的推測－
第１２回　政策分析のための因果モデル
第１３回　総括と演習
第１４回　クイズ
第１５回　フィードバック

公共政策論II(2)へ続く↓↓↓

公共政策論II(2)

[履修要件]

公共政策論に関する基本的な知識を有していることを前提にしている。

[成績評価の方法・観点]

授業時間中に実施するクイズ（回数未定）の結果で評価する。詳細については第１回目の授業で説明する。

[教科書]

プリントを配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業において課題を課すことがあるので、提出期限内に提出すること。

[その他（オフィスアワー等）]

教室の定員を超えないように、履修（人数）制限を行う。

[主要授業科目（学部・学科名）]